

第 10 回一関市総合計画審議会 会議録

1 会議名 平成 27 年度第 10 回一関市総合計画審議会

2 開催日時 平成 28 年 2 月 24 日（水） 午後 1 時 30 分から 3 時 40 分まで

3 開催場所 なのはなプラザ 3 階 一関市民センター 大会議室

4 出席者

(1) 一関市総合計画審議会委員 19 人

阿部新一委員、及川修三委員、及川忠委員、小山亜希子委員、金野久美委員、坂本紀夫委員、佐藤芳郎委員、菅原行奈委員、高橋雅弘委員、千田博委員、千葉真美子委員、槻山チエ委員、徳谷喜久子委員（副会長）、永山克男委員、永澤由利委員、沼倉恵子委員、畠中良之委員（会長）、原田哲委員、三浦幹夫委員、

（欠席委員 8 人）

小山麗子委員、木村静恵委員、小岩邦弘委員、菅原五三男委員、菅原勇委員、千葉博委員、松岡千賀子委員、水谷みさえ委員

(2) 市出席者 6 人

佐藤善仁市長公室長、鈴木伸一総務部次長兼財政課長、千葉敏紀政策企画課長、藤島修政策企画課主幹、佐藤正幸政策企画課長補佐、加藤奈美江財政課主査

(3) その他

川嶋印刷株式会社 営業 工藤正隆

5 会長挨拶

本年度最後の審議会である。私どもの役割を十分果たせたかどうかわからないが、精いっぱい務めさせていただいた。

皆さんの 1 年間の協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

6 市長挨拶

昨日の市議会で平成 28 年度の施政方針を行った。

その中で来年度の予算のキャッチフレーズでまちづくり正念場という言葉を使わせていただいた。

その背景にあるのは、I L C のスケジュールが見えにくかったが、有識者会議で方向付けをされた。そこに向かってしっかり受け入れ態勢を整えていきたい。

昨年 4 月から市民センターが協働のまちづくりの拠点となった。地域協働体も次々設立され、市民センターの指定管理も始まった。

H28年度は、もっと加速化していきたく思っている。

地域の中でエネルギーを循環させていく資源エネルギー循環型のまちづくりも柱の一つである。

H28に具体化を図っていくが、バイオマス構想等の実現に取り組んでいきたい。

このように、一関のまさにまちづくりは正に正念場を迎えている。

地方創生についても観光分野が大事と考えている、のりしろを最大限にして取り組んでいきたい。

隣接する観光に限らず行政全般にわたって登米市、栗原市とも連携可能なものから取り組んでいかなければいけないと考えている。来年度は平泉町が加わることとなった

平泉は世界遺産としての世界の財産であり、ILCが実現すればこれも世界の財産となる。この狭い地域に世界の財産が2つあるという他にはない。これをうまく結んで情報発信をしていきたい。

本当の意味での正念場というものを毎日感じている。

昨年12月18日に総合計画前期基本計画が議決された。審議会委員の皆さんが今まで審議いただいたことに感謝を申し上げます。

計画は作って終わりというものではない。計画は作るが2割、どう実施するかが8割である。行政だけではなく市民と一緒に中身の濃いものにしていきたい。

7 議 題

- (1) 総合計画（基本構想及び前期基本計画）の計画書（案）について
- (2) 総合計画後期基本計画「主な指標」の平成26年度末時点の状況について
- (3) 平成28年度予算について
- (4) 総合計画実施計画（H28・H29・H30年度）について
- (5) 新市建設計画事業の進捗状況について
- (6) 総合計画審議会委員からの意見への対応

8 審 議

- (1) 総合計画（基本構想及び前期基本計画）の計画書（案）について

【資料No.37】（当日配付）分野別計画の重点施策について

【参考資料】序 第1章 総合計画とは

総合計画前期基本計画書 概要版（案）

事務局から資料の説明を行い、質疑・意見を求めた。

分野別重点施策については、事務局案を承認いただいた。

計画書の序については、審議会等の意見を踏まえ修正したものを掲載することとした。

【質疑・意見等】

(重点施策)

① 審議会委員意見

【参考資料】序の5ページの文化の欄の記載について、抜けているものがないかという視点で見ると、藤沢町分について、野焼き祭りは記載があるが、キリシタンの関係の記載がないが地域ではあまり大きく扱われていないということか。

→事務局で確認する。

② 審議会委員意見

【参考資料】序4ページの自然の欄の後半の「なのはな」は漢字の方が見やすい。

→ご意見として承る。

③ 審議会委員意見

【参考資料】序4ページの自然の欄が他に比べて多い。ボリュームのバランスを取った方が良いのではないか。地勢、気候等もう少しボリュームをつけてはどうか

→検討する。

④ 審議会委員意見

【参考資料】序2ページの住民自治の進展の下の段落を記載した理由は

→住民自治の進展ではなく、5つの社会情勢を踏まえた内容となっている。次の計画の役割に繋がる部分である。検討する。

(概要版について)

⑤ 審議会委員意見

2ページの体系図で基本構想が上になっているが、基本構想から積み上がって総合計画が出来ている図の方が良いと思う。

⑥ 審議会委員意見

2、3ページはカラフルすぎるので、もっと落ち着いた感じにしてはどうか

⑦ 審議会委員意見

2、3ページは、まちづくりの目標などでまとめて、くどくしない方が良いと思う。

写真を多用しているが、にぎやかさはここでなくてもいいのではないか

⑧ 審議会委員意見

5ページのプロジェクト1の説明で人口減少の記載があるが、人口減少は言葉だ

けではなく、図や表を使い視覚に訴えた方がインパクトがあり、目につきやすいと思う。

⑨ 審議会委員意見

6 ページ以降の文字の書体がゴシックのみ、柔らかいフォントを使ってもらった方がいいと思う。

(2) 総合計画後期基本計画「主な指標」の平成 26 年度末時点の状況について

【資料No.38】総合計画後期基本計画「主な指標」一覧

(3) 平成 28 年度予算について

【資料No.39】(当日配付)平成 28 年度予算のポイント

(4) 総合計画実施計画 (H28・H29・H30 年度) について

一関市総合計画実施計画書 (H28・H29・H30 年度)

(5) 新市建設計画事業の進捗状況について

【資料No.40-1. 資料No.40-2】(当日配付)新市建設計画事業の進捗状況について

事務局から資料の説明を行い、質疑・意見を求めた。

【質疑・意見等】

⑩ 審議会委員意見

指標のNo.68 文化センターの利用件数について、文化センターの駐車場が不足している。大型バス等の駐車場もない状況であり車両の通行にも支障がある。市としてもこの状況を認識してほしい。

⑪ 審議会委員意見

予算のポイントの 8 ページの地域医療の確保について、医師奨学資金貸付金の内容と医師確保についての市の取り組みを教えてください。

・ 事務局

貸付の枠は、現在貸付をしている学生が 3 名、新たな貸付者を 1 名と見込んで 4 人分を見ている。貸付額は月額 30 万円、その他に入学一時金として 760 万円となっている。一関市内で医者として 9 年勤めてもらえれば、償還免除となるものです。

医師確保については、それ以外に地域医療を守る支援事業として、平成 29 年度から新専門医制度が開始されることから、藤沢病院、磐井病院と一緒に取り組んでいくこととしている。

⑫ 審議会委員意見

指標 11 ページ太陽光発電システム導入量について、買取価格が下がっている。市として補助金の施策の考えはないのか。

- ・ 事務局
太陽光発電システムの設置する場合に 10KW まで 1 KW あたりいくらかという補助を行っている。

- ⑬ 審議会委員意見
実施計画の 35 ページ国体選手強化事業の内容を聞きたい。
 - ・ 事務局
体育協会への補助金です。

- ⑭ 審議会委員意見
国体強化選手が体育施設を利用する際の経費についても配慮願いたい。

15 時 40 分 閉会

9 公開、非公開の別 公開

10 傍聴者の数 1 人

11 担当課 市長公室政策企画課